

名古屋市保健所
感染症対策・調査センター

〒463-8585
名古屋市守山区桜坂四丁目207番地
電話 737-3712 FAX 736-1102
Mail a7373711-07@kenkofukushi.city.nagoya.lg.jp

感染症対策・調査センター だより

インフルエンザの気になるポイント

季節性インフルエンザは例年12月～3月が流行シーズンです。しかし、新型コロナウイルス感染症が2020年以降に流行してから、その動向は大きく変わってきています。名古屋市内では9月以降にインフルエンザによる学級閉鎖が相次いでいます。

今回の感染症対策・調査センターだよりでは、身近な感染症であるインフルエンザについて、気になるトピックをお伝えします。

「厚生労働省インフルエンザQ&A」

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/infuenza/QA2023.html#Q19



普通の風邪となにが違うの？

普通の風邪

- のどの痛み、鼻汁、くしゃみ、咳
- 全身症状はあまり見られない。
- 発熱もインフルエンザほど高くない。
- 重症化することはあまりない。

インフルエンザ

- のどの痛み、鼻汁、咳等
- 38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、全身倦怠感等の症状が比較的急速にあらわれる。
- お子様ではまれに急性脳症を、ご高齢の方や免疫力が低下している方では二次性の肺炎を伴う等、重症になることがある。



異常行動ってなに？

インフルエンザにかかった時に、薬を服用したかどうかにかかわらず、急に走り出す、部屋から飛び出そうとする、などの異常行動が現れたことが報告されています。少なくとも発熱から2日間、異常行動による転落等の事故に対して、玄関や窓の施錠を確実にし行うなどの対策をとりましょう。

学校(幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校、大学及び高等専門学校)の出席停止期間

「学校保健安全法」では、「発症した後5日を経過し、かつ、解熱した後2日(乳幼児にあっては、3日)を経過するまで」を出席停止期間としています。出席停止期間が経過した後に、改めて検査を受ける必要はなく、復帰する際には治癒証明書や陰性証明書の提出は原則として不要です。

なお、保育所においては「保育所における感染症対策ガイドライン」に別に定めがあります。各保育所にお問い合わせください。

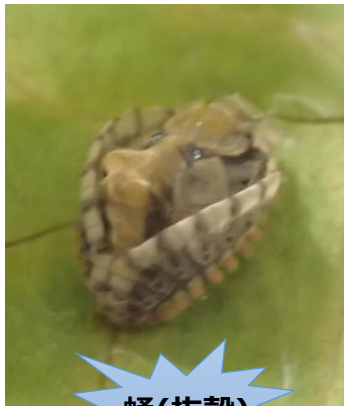
マダニ捕獲調査時に捕獲したその他昆虫

感染症対策・調査センターでは旗ずり法によるマダニの捕獲調査を行っています。旗ずり法とは、マダニが動物と間違えて旗（布）に飛びつく習性を利用したものです。調査の際、マダニ以外に旗についた昆虫を紹介します。

ベニヘリテントウ



成虫



蛹(抜殻)



幼虫

ベニヘリテントウの成虫と幼虫が捕れました。テントウムシの代名詞であるナナホシテントウほど見かけることはありません。ナナホシテントウと言えば、絵本のキャラクターで登場したり、縁起の良い虫と言われたり、昆虫が苦手な方でも好意的なイメージをお持ちの方が多いかもかもしれません。しかし、見た目や縁起物のイメージと裏腹に、捕食性の昆虫でアブラムシを襲い、共食いも辞さない強い肉食性を持ちます。ベニヘリテントウも例外ではありません。

オオワラジカイガラムシ



黒い翅のあるオス



2頭のベニヘリテントウの幼虫に食べられるメス

オオワラジカイガラムシのオスとメスが捕れました。オオワラジカイガラムシは樹木に寄生して植物を枯らすことがあるので害虫とされています。オスとメスで異なる外観をしています。どちらもベニヘリテントウの捕食の対象です。ベニヘリテントウとオオワラジカイガラムシを同じ飼育ケースに入れたところ、ベニヘリテントウがオオワラジカイガラムシに噛みついていました。ベニヘリテントウの捕食シーンを目の当たりにし、改めて昆虫界が弱肉強食の世界であることを思い起こしました。

『感染症対策・調査センターだより』はインターネットでもご覧いただけます。名古屋市公式ウェブサイト<http://www.city.nagoya.jp/> から感染症対策・調査センターで検索してください。